

2024年度 NITE講座(シラバス)

科目名	化学物質管理 ～基礎と実務のための関連法規制について～	募集定員	各1000名	開講機関 (実施方法)	化学物質管理センター (webexウェビナー)	講義日時	2024年 12月11日(水)～13日(金)
科目概要	本講座は化学物質管理人材の育成を目的に、化学物質管理業務に初めて携わる方など初学者を対象に、化学物質管理業務を行うにあたって必要な知見を習得していただけるよう構成しました。化学物質製造事業者に限らず、化学物質を扱う幅広い事業者の方々に向け、化学物質管理とは何かから、化学物質管理にまつわる関連法規制の概要、そして、化審法の新規化学物質や一般化学物質等の届出、化管法における排出量報告など化学物質管理の実務に直結する内容も含めて開催します。						

No.	講義名	講義概要	講義日	時間	講師所属
1	化学物質管理及び化学物質のリスク評価概論	化学物質管理の基礎的な説明と、化学物質管理に必要となる化学物質のリスク評価の全体像について理解することを目的とします。化学物質のリスク評価については、準備、有害性評価、暴露評価、リスク推計等を簡便に説明します。主に化学物質管理及び化学物質のリスク評価の基本的な考え方を知りたい方に向けた内容です。 専門性★ 実務性★	12月11日(水)	9:30～10:30 講義45分 質疑15分 計60分	NITE 計画課戦略企画室
2	【第1部】化学物質管理に関する情報収集	化学物質管理において、化学物質の法規制や有害性の情報を把握することは重要ですが、法規制等は絶えず見直しが行われ、最新情報を得るには労力が掛かります。効率的に情報収集を行うために、NITEが提供する化学物質管理に関する情報コンテンツ(データベース、メールマガジン)の使い方を紹介します。主に化学物質管理の実務を担当する方に向けた内容です。 専門性★ 実務性★★★		10:40～12:00 講義70分 質疑10分 計80分	NITE 情報基盤課
	【第2部】化審法官報整理番号の調査	化審法における化学物質の法的位置づけの確認にあたっては、化審法公示名称について理解をする必要があります。解釈が困難な化審法既存化学物質名称の特徴や化審法運用通知を中心に解説します。また、CAS登録番号と化審法官報整理番号の紐づけ情報について具体例を示して解説します。主に、化審法官報整理番号の調査の実務を担当する方に向けた内容です。 専門性★★ 実務性★★		13:30～14:30 講義50分 質疑10分 計60分	NITE 化学物質同定課
3	化審法概論Ⅰ:新規化学物質届出制度の概要と申請のポイント及び分解・蓄積性試験の概要と評価の考え方について	化審法における新規化学物質の製造又は輸入を行う際には、事前に国へ届出を行う必要があります。届出資料を作成する際のポイントについて紹介します。また、届出の際に求められる試験のうち、分解性及び蓄積性の評価に関わる試験等の概要と評価の考え方についても説明します。主に化審法の新規化学物質の届出等の実務を担当する方に向けた内容です。 専門性★★ 実務性★★	14:40～16:10 講義70分 質疑20分 計90分	NITE 安全審査課	
4	化学品のGHS分類とラベル・SDSによる情報伝達の概説(初学者向け)	GHS? SDS? これって一体なんのこと? SDS3法(安衛法、化管法、毒劇法)の義務とどのような関係があるのでしょうか? そんなGHSの基本やSDSの読み方に関する初歩的な疑問を解消します。フリーウェブツール「GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム(NITE-Gmiccs: ナイトジーミックス)」についても簡単に紹介します。GHSに基づく化学品のラベル・SDSを作成する又は取り扱う方に向けた内容です。 専門性:★ 実務性:★★	12月12日(木)	9:30～10:40 講義60分 質疑10分 計70分	NITE 情報基盤課
5	「GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム(NITE-Gmiccs)」の操作方法	混合物の組成成分情報からGHS分類を行い、ラベルやSDSの作成を支援するフリーウェブツール「GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム(NITE-Gmiccs: ナイトジーミックス)」の使い方について、実際の操作画面を見せながら解説します。GHSに基づく化学品のラベル・SDSを作成する方に向けた内容です。 ※GHS分類やラベル・SDSの全体像が分からない方は、前の概説の講義も併せて受講することをお勧めいたします。 専門性:★ 実務性:★★★		10:50～12:10 講義70分 質疑10分 計80分	NITE 情報基盤課
6	安衛法に基づく化学物質管理の考え方と改正点のポイントについて	「労働安全衛生法」(安衛法)に基づく化学物質管理について、法令の概要、考え方などについて紹介し、最新の化学物質管理に係る安衛法関係法令の改正点のポイントについても解説します。主に安衛法に対応した化学物質管理の実務を担当する方に向けた内容です。 専門性★★ 実務性★★★		13:30～14:50 講義60分 質疑20分 計80分	厚生労働省労働基準局 安全衛生部 化学物質対策課
7	化管法の概要	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)における、排出量報告・集計・公表制度(PRTR)について、令和3年度政省令改正の内容も含めて解説します。主に、化管法の担当となりまだ経験が浅い方に向けた内容です。 専門性★ 実務性★	15:00～16:40 講義80分 質疑20分 計100分	NITE リスク管理課	
	化学兵器禁止法の概要	「化学兵器禁止法」(化兵法)における届出・申告(対象物質、しきい値、記載内容等)及び申告をした事業所に対して行う化学兵器禁止機関(OPCW)の国際検査の概要について説明します。また、化兵法の成立の背景となった「化学兵器禁止条約」について紹介します。主に、化兵法の担当となりまだ経験が浅い方に向けた内容です。 専門性★★ 実務性★★		経済産業省 産業保安・安全グループ 化学物質管理課 化学兵器・麻薬原料等規制対策室	
8	水俣条約における蛍光灯製造等廃止と今後の措置	2023年11月の「水俣に関する水俣条約 第5回締約国会議」において、一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入を、2027年までに段階的に廃止することが決定されました。これを受けた、条約の国内担保法である水俣汚染防止法の措置予定や、経済産業省における取組について紹介します。 専門性★ 実務性★	12月13日(金)	10:30～12:00 講義65分 質疑25分 計90分	経済産業省 産業保安・安全グループ 化学物質管理課
	フロン政策における最近の動向と今後の展開について	モントリオール議定書のキガリ改正による代替フロンの削減スケジュールへの対応など、これまでのフロン類を巡る規制の経緯から近況、今後の課題について説明します。主に地球温暖化・フッ素ガスに対する規制に興味のある方に向けた内容です。 専門性★★ 実務性★			経済産業省 産業保安・安全グループ 化学物質管理課 オゾン層保護等推進室
9	消防法における化学物質管理	「消防法」における化学物質管理の基本的な考え方等について解説します。危険物の規制(危険物とは、危険物施設の規制、危険物の運搬等)の話を中心に理解を深めます。主に消防法の担当となりまだ経験の浅い方に向けた内容です。 専門性★ 実務性★★	13:30～14:50 講義60分 質疑20分 計80分	総務省消防庁 予防課 危険物保安室	
10	化審法概論Ⅱ:一般化学物質等のリスク評価制度および製造数量等届出制度	化審法における一般化学物質等の製造および輸入後の化学物質管理を理解することを目的に、国が実施するリスク評価制度や製造数量等の届出制度等を、その成り立ちも含めて紹介します。主に化審法における一般化学物質等の製造数量等の届出の実務を担当する方に向けた内容です。 専門性★ 実務性★	15:00～16:15 講義55分 質疑20分 計75分	NITE リスク評価課	

凡例 専門性★、★★、★★★ (★が多いほど専門的な内容が多く、専門性が高い)のように表しています。全ての講義について化学物質およびその法規制等について多少専門的な内容を含みます。
実務性★、★★、★★★ (★が多いほど関連法規制等への対応の実務に即した内容が多い)のように表しています。

注 各講義時間に記載している質疑応答の時間は目安です。多少前後する場合があります。